

「抜苦与楽」今、その相手（人や動植物等）の持っている苦しみを取り除いてあげさらに楽を与える、「慈悲」の行いを云います。

「慈悲」は、インドの言葉で、karuna カルナーと云います。

「慈」は、いつくしみ・思いやりのことばや行いで、楽しみを与える情け深さを云い、「悲」は、かなしむ・あわれむ・いとおしむ心で、苦しみを抜いてあげる言動を云います。

今や、奪い合う時代から、与え合える時代へと、人類の成長が見られる中、奪い合えば足りなくなるし、譲り合えば足りることを再認識して、せめて、今、相手に苦しみ（恐怖心・不安感・心配…）を与えないようにはしたいものです。